

【初试】2026 年 浙江大学 713 日语语言与文学考研精品资料

说明：本套资料由高分研究生潜心整理编写，高清电子版支持打印，考研推荐资料。

一、浙江大学 713 日语语言与文学考研真题汇编

1. 浙江大学 713 日语语言与文学 2003-2005、2007-2008 年考研真题，暂无答案。

说明：分析历年考研真题可以把握出题脉络，了解考题难度、风格，侧重点等，为考研复习指明方向。

二、2026 年浙江大学 713 日语语言与文学考研资料

2. 日语语言与文学考研复习相关资料[考研核心题库]

2-1、2026 年日语语言与文学考研核心题库[词汇+语法+翻译+阅读理解+写作]

①2026 年研究生考试日语语言与文学考研核心题库[词汇]题库及答案解析

②2026 年研究生考试日语语言与文学考研核心题库[语法]题库及答案解析

③2026 年研究生考试日语语言与文学考研核心题库[翻译]题库及答案解析

④2026 年研究生考试日语语言与文学考研核心题库[阅读理解]题库及答案解析

⑤2026 年研究生考试日语语言与文学考研核心题库[写作]题库及答案解析

说明：专业课强化辅导班使用。最新最全考研复习题库，均含有详细答案解析，考研首选。

三、资料全国统一零售价

本套考研资料包含以上部分(不含教材)，全国统一零售价：[¥]

四、2026 年研究生入学考试指定/推荐参考书目(资料不包括教材)

浙江大学 713 日语语言与文学考研初试参考书

吴侃《日语词汇研究》；

《日本文学史》(日文版)；

谢志宇《20 世纪日本文学史—以小说为中心》；

皮细庚《日语概说》

五、本套考研资料适用学院

外国语学院

六、本专业一对一辅导(资料不包含，需另付费)

提供本专业高分学长一对一辅导及答疑服务，需另付费，具体辅导内容计划、课时、辅导方式、收费标准等详情请咨询机构或商家。

七、本专业报录数据分析报告(资料不包含，需另付费)

提供本专业近年报考录取数据及调剂分析报告，需另付费，报录数据包括：

①报录数据-本专业招生计划、院校分数线、录取情况分析 & 详细录取名单；

②调剂去向-报考本专业未被录取的考生调剂去向院校及详细名单。

版权声明

编写组依法对本书享有专有著作权，同时我们尊重知识产权，对本电子书部分内容参考和引用的市面上已出版或发行图书及来自互联网等资料的文字、图片、表格数据等资料，均要求注明作者和来源。但由于各种原因，如资料引用时未能联系上作者或者无法确认内容来源等，因而有部分未注明作者或来源，在此对原作者或权利人表示感谢。若使用过程中对本书有任何异议请直接联系我们，我们会在第一时间与您沟通处理。

因编撰此电子书属于首次，加之作者水平和时间所限，书中错漏之处在所难免，恳切希望广大考生读者批评指正。

目录

封面.....	1
目录.....	4
浙江大学 713 日语语言与文学历年真题汇编	5
浙江大学 713 日语语言与文学 2008 年考研真题（暂无答案）	5
浙江大学 713 日语语言与文学 2007 年考研真题（暂无答案）	9
浙江大学 713 日语语言与文学 2005 年考研真题（暂无答案）	13
浙江大学 713 日语语言与文学 2004 年考研真题（暂无答案）	17
浙江大学 713 日语语言与文学 2003 年考研真题（暂无答案）	21
2026 年浙江大学 713 日语语言与文学考研核心题库	27
日语语言与文学考研核心题库之[词汇]精编	27
日语语言与文学考研核心题库之[语法]精编	43
日语语言与文学考研核心题库之[翻译]精编	59
日语语言与文学考研核心题库之[阅读理解]精编.....	64
日语语言与文学考研核心题库之[写作]精编	102

浙江大学 713 日语语言与文学历年真题汇编

浙江大学 713 日语语言与文学 2008 年考研真题（暂无答案）

共 4 页，第 1 页

浙 江 大 学

二〇〇八年攻读硕士学位研究生入学考试试题

考试科目：日语语言与文学

编号：713

注意：答案必须写在答题纸上，写在试卷或草稿纸上均无效。

说明：答题均使用日语。（满分：150 分）

一. 词汇认读：（共 20 分）

1. 写出划线部分汉字读音：（每题 1 分，共 10 分）

- (1) 委員長を更迭する (2) 風邪による悪寒 (3) 世間に流布した話
 (4) 寺院を建立する (5) 匿名の手紙 (6) 諸国を行脚する
 (7) 行楽に絶好の日和 (8) 空家に怪しい気配 (9) 美味を礼賛する
 (10) 独裁者を憎悪する

2. 写出划线部分的汉字：（每题 1 分，共 10 分）

- (1) さくいんで調べる (2) 事態がふんきゅうする (3) ゆいのうを取り交わす
 (4) すじょうの知らない浪人 (5) げどくざいを服用する
 (6) 夏休みにきせいする (7) こんじゃくの感あり
 (8) たいだな生活 (9) べんぎを図る (10) えんかつな事務処理

二 填空：（每题各 1 分，共 20 分）

1. 妻：疲れてるみたいね。

夫：うん、もう（ ）

- ① たくた ② だらだら ③ ごろごろ ④ いやいや

2. 学生A：試験に受かったんって？

学生B：うん、でも（ ）だよ。

- ① どうどう ② すれすれ ③ ゆうゆう ④ らくらく

3. 聞くとところによると（ ）あの人は財界の大物だそうだ。

- ① なかと ② 何なりと ③ 何なら ④ 何でも

4. （ ）この大雨で電車が遅れているものですから・・・

- ① 何分 ② 何卒 ③ 何かと ④ 何なら

5. 彼のような世間知らずがこの仕事をするなんて（ ）無理なんだ。

- ① いわば ② 何でも ③ どだい ④ てっきり

6. 見方によっては彼の言うことも（ ）うそとはいえない。

- ① あながち ② よもや ③ それとなく ④ いずれにせよ

7. あんな弱いチームなんか（ ）相手にならないよ。

- ① まんざら ② あながち ③ てんで ④ よもよ

8. 学生時代にもっと経済を勉強していればよかった（ ）、残念でならない。

- ① ものに ② もので ③ ものか ④ ものを

9. 面接で試験官の顔が叔父にそっくりだったので、笑い（ ）ばかりになった。

编号 713 第 2 页

- ① 出す ② 出さん ③ 出して ④ 出した。
10. 父は散歩()タバコを買って来るといって出かけたまま帰って来ない。
① がてら ② ごとき ③ ながら ④ ばかり
11. 英語が出来ますといった()翻訳の仕事押し付けられてしまった。
① ばかりに ② にはしては ③ わりに ④ とはいえ
12. 社長になるが()古参社員に解雇を告げなければならないこともある。
① のかわりに ② ごとくに ③ の反面 ④ ゆえに
13. 急に後ろから肩を叩かれて()大声を出してしまった。
① 思わず ② ふと ③ どうやら ④ たまたま
14. ()雨がふりそうだから、早く帰ろう。
① 今にも ② いかにも ③ よほど ④ さぞ
15. ()男性のほうが女性より力が強い。
① 一般に ② 特に ③ 単に ④ 別に
16. あの子、勉強がきらいだね。()成績はわりに良いから、頭は悪くないのね。
① それでいて ② そもそも ③ ただ ④ それにつけても
17. 部長はこの提案に反対はしないでしよう。()はっきり賛成もしいと思いません。
① それだって ② しかるに ③ さりとて ④ しかるところ
18. よく調査して、()責任者には厳重に注意しておくように。
① それというのも ② しかるのち ③ さりととは ④ そうすると
19. ()お願いがあるんですが・・・
① のみならず ② 次いで ③ ときに ④ 一方
20. 前社長ずさんな経営で借金を重ね、()なってしまった会社を立ち直らせて、何とか軌道に乗るまでにした。
① 首が回らなく ② 虫がよく ③ 人が悪く ④ 身につまされる

三. 文学知识: (共 20 分)

在以下()或「 」中或添入适当的词语, 或标出有底线部分词语的读音。

1. 十世紀終わりにできた、清少納言(1.)の書いた随筆「2. 」は、約三百段からなり、類聚的部分、日記的部分、随想的部分の三つに分けられる。いっぽう、土佐守の任を終えた紀貫之(3.)が、帰京するまでの五十五日間の船旅の経験を仮名で書き記したのは、「4. 」であり、日記文学の第一声と呼ばれている。
2. 「5. 」は最初の物語で、「物語の祖」と言われている。
3. 雑誌「文学界」によって出発した浪漫詩人の島崎藤村「6. 」は、明治三十年代後半に「千曲川スケッチ」を書き、その後散文へと移行し、明治三十九年「7. 」を発表し、主人公瀬川丑松が自分の出身などを隠せという父の戒めを破り、自己の真実を告白する。この方向は田山花袋「8. 」の「蒲団」に受け継がれた。
4. 友人の正岡子規より俳句を学び、俳諧的な態度と風刺の精神のよく現れた小説「我輩は猫である」を書いたのは夏目漱石(9.)である。いっぽう、志賀直哉(10.)など結成した文学団体「白樺派」は、自我尊厳を強く叫び、自然主義文学を反対する立場から出発していた。
5. 日清戦争後の資本主義の発展によって、社会の矛盾はますます深刻になった。それが当

编号 713 第3页

時の文学にも影響を及ぼした。尾崎紅葉（11. ）の「金色夜叉」、徳富蘆花の「不如帰」なども、当時の社会問題に触れ、広範囲で愛読された。詩から散文へ、浪漫主義から自然主義の過渡期を、激しい動揺と苦悩のうちに生きた作家に国木田独步（12. ）がいる。彼はまだ資本主義的な機械文明に浸透されていない美しい自然を作品「武蔵野」に書き、現実の社会に見出し得ぬ本当の自由を見ようとした。

「新思潮」を代表する芥川龍之介（13. ）は、歴史小説「鼻」によって文壇に登場。昭和初期に入ってから、川端康成（14. ）や横光利一（15. ）など、「新感覚派」作家と呼ばれ、前者は「伊豆の踊子」を発表し、青春の哀感が漂う名作である。戦時中に活躍していた作家に看過できないのは、やはり中島敦（16. ）であろう。「山月記」など発表して、独自の世界を作り上げている。

戦後、野間宏（17. ）は「18. 」という長編小説を書き、戦後文学の本格的な第一声を発したと高く評価されている。その後、安部公房（19. ）や大江健三郎（20. ）など、それぞれの文学作品を書き表し、戦後文学のピークを迎えてきたのである。

四、阅读和理解：（共40分）

一つ一つの単語が特有の語感をもつように、一つ一つの文字は、字感をもつ。同じクニという漢字でも、「國」の方はりっぱだが、「国」の方は重みがない、とか、新仮名で書いたものは不愉快だ、とかいうのは、その例である。字感は何から生まれるか。ちょっと考えると、文字そのものの「1」によってきまるように思われるが、ちがう。それより大きな原因が二つある。

一つは、その文字がどういう「2」のことばを表すのに使われるかという習慣である。「山」の字は、いかにも「山」の意味を連想させ、雄大な峰々の連なりを心に（ア）エガかせて、山好きの人間をわくわくさせるが、もしその形だけから言うなら、「山」の字より「人」の字のほうが「山」の意味を表すのにふさわしいし、また、「人」の意味を表す字を考えるなら、「人」の字より「大」の字の方がぴったりくる。

（A）、「山」の字を見て「山」の意味を連想するというのは、子どものときから、この字が「山」の意味に使われているのを何度も見た、その記憶からくる条件（イ）ハンシヤにほかならない。だから、人によってその連想のしかたはちがうわけで、もし山口県に育った人ならば、「山」の字を見た場合、「山」を思うよりも、まず自分の郷里を連想して（ウ）ナツかしく感じ、「山本」という姓をもつ人は、自分に関係の深い文字だと見て深い（B）を覚える。

次に、字感、もう一つその人がその文字をどういう「3」で読んだかという記憶から生じる。年配の人が旧字体の「國」の字を（エ）イゲンがあり、（C）感じるのは、昔、教科書をはじめ目に触れる活字の本のは多く「國」の字が書かれていたためであり、新字体の「国」の字を（D）思うのは、そまつな謄写版印刷や、乱暴に書かれた町かどの（オ）ケイジなどに見られた、その記憶によるものである。「国」という字の形そのものには、「國」という字に比べてきたないと判定される理屈は何もない。

その証拠に、教科書で「国」という字のほうを習った今の世代は、「国」の字に書きにくいという難しさを感じ、「國」の字からは、旧式な文体、表現で書かれた、旧式の装丁の読みにくい本を連想する。それはちょうど、今の多くの人が「E」に対するイメージのようなものらしい。

2026 年浙江大学 713 日语语言与文学考研核心题库

日语语言与文学考研核心题库之[词汇]精编

1. わたしは明日美術館へ絵の展示会を見に_____。
A. 行きます
B. 帰ります
C. します。
【答案】A
2. 李さんは日本のこと_____なんでも知っています。
A. も
B. に
C. を
D. で
【答案】C
3. 電話_____最中に、だれかが玄関に来た。
A. している
B. する
C. した
D. して
【答案】A
4. そのパソコンはあなた_____ですか。
A. に
B. の
C. を
D. へ
【答案】B
5. まさか、あの二人が結婚する_____、信じられない。
A. なんて
B. なんか
C. なんて
D. なんと
【答案】A
6. かばんの中_____何が入っていますか。
A. か
B. が
C. で
D. に
【答案】D